

第 76 回 応用物理学会 秋季学術講演会

2. 放射線 分科企画シンポジウム

化学分析技術と放射線

Radiation application in chemical analysis

2015 年 9 月 14 日 (月) 13:45~16:30

名古屋国際会議場 2V 会場

◆ 企画主旨

化学分析は、理学・工学などの自然科学から産業・医療応用まで広い領域に関連しており、今日の社会へ広く貢献しています。その中で、計測・分析手法の一つとして放射線の果たす役割は大きく、XRF、EPMA、NAA、PIXE 等の放射線を用いた化学分析は放射線発生・計測技術の進展と密接に関連しています。本シンポジウムでは、それらの放射線を利用した化学分析の分析技術・分析装置の研究開発やその応用に関する最先端の内容について、議論や情報交換の場とすることを目的としています。

本シンポジウムは、応用物理学会期間中の 9 月 14 日 (月) 午後を実施され、招待講演者は下記 5 名です。テーマとしては、X 線・電子線・イオンビームなどの放射線発生技術から、元素分析や元素イメージングなどの実応用に至るまで幅広いものを予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。

◆ 講演予定 (敬称略)

13:45~14:15 河合 潤 (京都大学)

蛍光 X 線分析装置小型化・低価格化と焦電結晶型電子線マイクロアナライザ

14:15~14:45 関本 俊 (京都大学)

放射化学的中性子放射化分析法を用いた、地球化学的固体試料中の微量ハロゲンの分析

14:45~15:15 白井 直樹 (首都大学東京)

放射化分析法を用いた宇宙・地球化学的試料への応用

15:30~16:00 神谷 富裕 (原子力機構)

マイクロ PIXE による顕微化学分析

16:00~16:30 鈴木 伸郎 (原子力機構)

農業に役立つ放射線イメージング

世話人

牧野 高紘 (原子力機構)、草野 広樹 (早稲田大学)、人見 啓太郎 (東北大学)、越水 正典 (東北大学)